

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」日吉本町校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・パーティションで支援スペースを区切り、適切な環境設定をしています。	・お子様の特性に合わせた環境設定をしていきます。
	②	職員の配置数は適切である	3	2	・お子様の状況に合わせて指導員の配置を行っています。	・法令を遵守した職員配置を行います。 ・児発管の配置があると保護者様からの相談が増えたり、職員の負担が減るのではないかと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	4	・お子様によって支援スペースの位置を固定したり、パーティションの配置方法を変えたりしています。	・校舎が2階となっており階段の使用が不可欠。 →お子様の怪我に繋がらないよう、声掛けを強化したり手を繋いでの昇降のお願い等の声掛けをしたりしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・毎朝掃除、入れ替え時に消毒、喚起を実施しています。	・今後も利用者の皆様が心地よく過ごせるよう、配慮していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・校舎内でミーティングを行っています。	・今後もミーティングを行い、より良い支援が提供できるようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・定期的に保護者様からの評価・意見を確認させて頂いております。	・保護者様アンケートの結果を職員間で共有し、改善に繋がるようにしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・定期的に保護者様からの評価・意見を確認させて頂いております。	・HPで公開し、事業所に掲示しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		・現在、第三者に外部評価は行っていませんが、内部職員の定期的な巡回や指導があります。	・内部職員の評価結果を元に改善していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・定期的に内部・外部研修に参加しています。	・定期的に研修を行い、支援の質の向上を目指しています。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・6か月に一度アセスメントを行い、参考にしながらお	・今後も保護者様の要望やお子様の様子を確認しながら個別支援計画を作成しています。

支援の提供				子様に合った個別支援計画を作成しています。	(現在、児発管不在の為、皆様にご迷惑をおかけしております。)
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	・毎回統一したアセスメント用紙を使用しています。	・今後も定期的にあセスメントを行います。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	・必要な項目を選択し、支援時の状況や保護者様からの情報をもとに支援内容の設定を行っています。	・アセスメントに基づいて個別支援計画を作成し、6か月毎にモニタリングを実施しています。今後ニーズを考慮し、適切な支援計画を作成していきます。 (現在、児発管不在の為、皆様にご迷惑をおかけしております。)
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	・個別支援計画を確認し、活動プログラムの組み立てを行っています。	・保護者様のご要望、お子様の様子によって個別支援計画を立て、支援に取り組めるようにしていきます。(現在、児発管不在の為、皆様にご迷惑をおかけしております。)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	・校舎内ミーティングを行っています。	・ミーティング内で出た意見を元に、よりお子様に配慮した支援ができるようにしていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	・季節の活動を積極的に取り入れています。	・個別療育、小集団療育とお子様に合わせてフォローをしながら取り組んでいます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	・発達年齢に合わせて月1回程度の小集団活動を行っています。	・今後もお子様の発達年齢に合わせて小集団活動を行っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	・支援記録の確認や職員間での情報共有を行っています。	・ミーティングを通してお子様に必要な支援の確認を行います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	・お子様の様子が普段と違う時や、保護者様からお話しがあった時にはすぐに情報共有し、全職員が対応できるようにしています。	・情報伝達ができるよう、職員間での確認を気を付けていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	・支援内容やお子様の様子は毎回記録に残し、次の支援の参考にし、改善に努めています。 ・今までと比べて出来た事、またもう少し頑張るべき事を	・支援内容を共有し、支援の継続性を考えて内容を検討し改善していきます。

					記載し、支援の改善に努めています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・6か月に一度モニタリングを行い、お子様の様子を振り返り、必要に応じて個別支援計画の変更を行っています。	・今後も定期的にモニタリングを行います。（現在、児発管不在の為、皆様にご迷惑をおかけしております。）	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児童発達管理責任者が参加しています。	・該当する利用者様の情報を事業所内で共有し、その内容を伝えられるようにします。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・子ども、子育て支援等の関係者と情報交換する機会を持つようしています。	・自立支援協議会の会議等を通して関係機関との連携を深めていけるようにします。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			5	・現在、医療ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			5	・現在、医療ケアが必要なお子様のご利用はありません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・保護者様のご希望があれば、関係機関連携として訪問し、情報共有をしています。	・関係機関連携で情報共有したものは、保護者様にもお伝えし、改善していきます。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			5	・就学先へお子様の情報共有をすることは行っておりませんが、関係機関連携として、現在通われている幼稚園・保育園に訪問し、情報共有をさせて頂いております。	・希望される方にはその都度連携を行い、情報共有をしていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・港北区社会協議会の研修や外部研修を受講しています。 ・横浜リハビリテーションセンターで利用者の様子を見学し連携を図っています。	・外部研修に参加し、支援に活かせるようにしていきます。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			5	・日吉本町校では室内での個別療育を基本とさせて頂いております。	

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		・定期的に参加しています。	・今後も参加し連携を深めていきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・フィードバックの時間を設け、お子様のその日の様子や今後の課題について確認しています。	・お子様に関して共通理解を深めることで、発達段階に合った支援提供ができるようにしていきます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	・相談支援にてご希望がある場合は対応をさせていただきます。	・相談支援の声掛けを行い、保護者様が話しやすい環境作りに努めます。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・契約時に説明を行っております。	・加算が別途つく場合はその都度説明し、不安点をなくせるようにしていきます。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・お子様の特性、保護者様のご要望に合わせて個別支援計画を作成し、説明をさせていただきます。	・お子様に合った個別支援計画の作成を今後も行い、保護者様から聞き取りを行い改善していきます。(現在、児発管不在の為、皆様にご迷惑をおかけしております。)
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・相談支援を行っています。	・相談支援の際に保護者様からの悩み等について確認し、解決策として「きらり」でできる支援をご提案していきます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	・保護者会は現在開催していません。	・ご希望がある場合は ZOOM 等での開催を考えています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・相談支援のご希望が合った際には対応できるようにしています。	・相談支援の際に保護者様からの悩み等について確認し、解決策として「きらり」でできる支援をご提案していきます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・毎月「日吉本町校通信」を配布しています。また、定期的にInstagramやブログに活動内容載せ発信しています。	・今後も活動内容が分かりやすいように発信をしていきます。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・鍵付きのロッカーに個人情報等保管しています。	・管理方法はご指摘がありましたら都度確認・変更して改善していきます。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	・お子様、保護者様の状況に応じて意思疎通や情報伝達ができるよう ICT や絵カードの活用をしています。	・今後も意思疎通や情報伝達がしやすいように改善していきます。

非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	4	1	・日吉本町校では室内での個別療育を基本とさせて頂いております。	
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・教室内にマニュアルを用意し、いつでも拝見できるようにしています。	・ご不明な点に関しては説明し、改善していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・定期的に室内、室外にて防災訓練を行っています。	・緊急時避難場所の確認を行い、安全な経路で避難ができるよう注意点を確認していきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・アセスメントを行っています。	・事前にアセスメントを行い、必要なお子様の情報を確認していきます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	・アセスメントを行いアレルギーに関しては把握していますが、日吉本町校では食品の提供はしていません。	・食べ物を扱っていないですがアレルギーに触れるようにものには配慮しています。(小麦粉粘土など)
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・ヒヤリハットを職員間で共有しています。	・事故に繋がる可能性のあるものは職員間で共有し改善していきます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・校舎内で虐待防止に関する研修を実施しています。 ・虐待防止委員を配置している。	・虐待を防ぐ為に、職員間で共通認識を持ち、改善していきます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・契約時に身体拘束について説明し、個別支援計画にも記載しています。	・身体拘束が必要になった場合は保護者様に説明を必ず行い、不安のないようにしていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」日吉本町校

保護者等数（児童数）：18 回収数：16 割合：89 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16				・親が子どもの様子を見るのに程よい距離で見待機場所がない。現在は、近すぎるか見えないかのどちらかです。	・他のお子様との兼ね合いで難しい場合もございますが、保護者の皆様から支援が見えるように配置の工夫をしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2			・先生によって難易度が違います。	・定期的に社内研修や外部研修を受講し、専門性の向上に努めております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	2	1	2		・お子様に応じて物の配置を変えさせて頂いております。また、建物が2階となっており皆様にはご不便をおかけしておりますが変わらずのご来所をありがとうございます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	1				・毎朝掃除を行っております。また、定期的に喚起、支援後毎に消毒作業を行っております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16					・お子様の様子が普段と異なる時や悩み事がある際に相談支援をさせて頂いております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			1		・ファイリングをして校舎内の本棚に置いていますので、ご覧ください。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16					・個別支援計画を支援前に確認し、計画に沿った支援を提供しております。

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	5	1			・担当制を設けていない為、複数の視点からアプローチできるように支援をさせて頂いております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	1	5		・「きらり」では個別療育を基本とさせて頂いており、現在は室内での活動をメインとさせて頂いております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16					・契約時に説明を行っております。質問がございましたらお声掛け下さい。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16					・契約時、更新時に個別支援計画を作成し、その支援内容について説明しております。現在は児発管間不在となり、皆様方にはご迷惑ご心配をおかけしております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	3		4	・まだ通い始めたばかりなので、分からない部分があります。	・相談支援にて、ご希望がございましたら行う場合がございます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1			・フィードバックの時に声が聞こえにくい時があり、もう少し大きい声で話して欲しいです。	・ご意見ありがとうございます。声の大きさにつきまして職員間で再度気を付けるように周知致します。 ・フィードバックでお子様の様子を共有し、共通理解ができるようにしております。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1		2		・相談支援をさせて頂いております。ご相談事や心配事がございましたらいつでもお声掛け下さい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	3	8	・保護者会などの場が苦手な為、あまり求めている。	・現在、保護者会は実施しておりません。ご希望がある場合は ZOOM 等の開催を考えております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	1		2		・相談支援のご希望があった場合は対応できるようにしております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2			・先生によって違います。	・お手紙等を配布し、情報伝達をしております。

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15			1	・毎月「日吉本町校通信」を配布しております。また、Instagramやブログに定期的に活動内容を載せ、発信しております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	2			・鍵付きのロッカーに個人ファイル等を保管しております。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	2		3	・校舎内にファイルを保管しております。また、定期的に地震を想定した避難訓練を行っております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2		4	・定期的に地震を想定した避難訓練を行っております。室内で行う場合と、実際に外まで避難する場合を取り組んでおります。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1			・今日は入るまで嫌がっていました。進んで入る日が多いです。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	14	2			・ご意見ありがとうございます。現段階では1回の支援を45分とさせて頂いておりますが、令和6年度の報酬改定により時間が変更になる可能性もございます。詳細が決まり次第、保護者様にお知らせいたします。 ・職員の支援の質が向上に努め、よりよい支援の提供ができるよう職員間で話し合いや研修の参加を行うようにしております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。